



学校だより

清流

立山中央小学校

令和3年3月

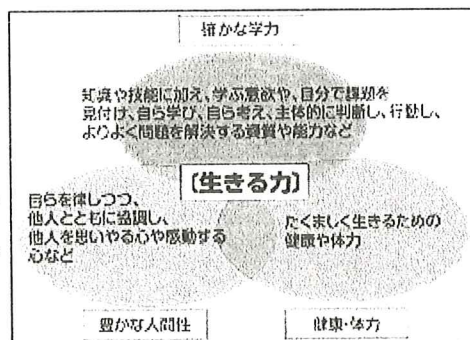


今こそ大切な「生きる力」



新型コロナウイルス対応に迫られた一年間が、あっという間に終わろうとしています。

子供たちは、家庭学習の取り組み方やゲーム機を使った遊び方等について、自分で考え、判断して、行動することを学びました。私は、このような姿こそ文部科学省が提唱する「生きる力」であると考えます。今後も、子供たちが、この「生きる力」を大きく育んでくれるよう願っています。



また、学校では、耐え忍ぶ期間を経て、例年通りに実施できないからと諦めるのではなく、できることを工夫して行ってきました。例えば、

① 6年生校外学習

立山登山の代わりに、学級単位で富岸運河に出かけ、船でクルーズを楽しみました。

② 学年別運動集会

各学年 1時間で3競技を行い、座席指定とすることで混雑を緩和しました。

③ 学習公開週間

半日ずつ 4日間に渡る学習公開期間を設けることで、密集を防ぐとともに、都合のよい時間に学習を参観していただきました。

④ 卒業を祝う会

学年別に体育館で卒業生への感謝の気持ちを伝えました。他学年は教室のテレビ放映により、その様子をリアルタイムで視聴し臨場感を味わいました。

⑤ きときとチャレンジランキング (50m 走平均値・記録差)

富山県児童生徒体力向上推進委員会主催の「きときとチャレンジランキング」において全学年が上位入賞しました。6月から 50m 走を継続し、体力アップに努めてきた成果だと思います。詳しくは、富山県教育委員会保健体育課HPをご覧ください。

これからも、変化・改善し続ける子供たちや学校であってほしいと願っています。

お 礼

私事ではありますが、3月末をもって定年退職となります。平成28年4月からの5年間は、本校の校長として奉職させていただきました。

その間、算数科の研究推進校の指定を受けたり、創校60周年の記念行事に携わったりすることができました。これもひとえに、町教育委員会をはじめ子供たちや保護者、地域のみなさまのご理解とご支援、教職員の協力があつてのことと感謝申し上げます。

立山中央小学校と、支えてくださるすべてのみなさまのますますのご発展とご多幸をお祈り申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。本当に、ありがとうございました。

校長 杉田 孝志